

「ギャオス内藤監督講演会」を開催しました

11月8日（土）、上越教育大学講堂にて新潟アルビレックス・ベースボールクラブのギャオス内藤元監督による講演会を開催しました。

「夢と目標に向かって～ギャオス内藤の野球人生観～」と題し幼少期の自主練習から、大活躍のプロ野球時代裏話まで、時に熱く、時に楽しくお話いただきました。会場には子どもから大人まで幅広い年齢の方々が来場され、次々と話される野球話に、時折笑いを交えながら耳を傾けていました。

講演では、監督の幼少時代から積み上げられた努力を感じとることができ、会場は驚きと感動に包まれました。

講演が終わり、質問タイムになると子供たちから「毎日の練習はどのくらいしていましたか？」、「キャッチボールしてくれますか？」など絶え間なく質問が飛び、ギャオス内藤氏はひとつひとつ丁寧に答えくださいました。

また、幼年野球団・野球ファンの方々からは「またこのような講演を開いて欲しい」との声をいただきました。



ねごしの寺子屋を開催しました

12月24日（水）～26日（金）の三日間、上越市板倉区にある常設型地域の茶の間「ねごしの里」において「ねごしの寺子屋」が開催されました。この活動は平成23年度から始まり、今回で11回目の開催となりました。小学生の長期休暇にあたる3月・8月・12月中の3日間～5日間に小学生が集い、上越教育大学の学生が中心となり、課題の指導・助言、自然体験活動、地域資源を活用した活動、世代間交流など多くの活動を行っています。

今回の寺子屋では上越教育大学から学生8名、中学生ボランティアが8名参加しました。

申込み児童数は過去最高の23名となり、活気のある寺子屋となりました。

活動内容としては、午前もしくは午後に学習の時間を設け、その他の時間は世代間交流を行います。

地すべり資料館での体験活動、地元の大廣寺での座禅、世代ごとにチームになって行うクイズゲームなど、子どもたちが普段体験できない体験や、地域のお年寄りとの良い交流の機会となりました。

最終日には三日間のまとめとして絵日記を作成します。内容には、それぞれの活動の楽しかったことや、休み時間に友達や中学生・大学生と遊んだことが書かれており、子どもたちにとって充実した日々であったことがうかがえました。

また、小学生だけでなく、ボランティアとして参加した中学生からも「教える側に立って勉強を教えられた」、「小学生の安全を確認する大変さを知った」といった意見があり、彼らにとっても貴重な経験となったようです。なお、この事業は振興協力が活動を支援し、実施しています。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地

上越教育大学振興協力会事務局（上越教育大学企画・広報課内）

電話：025-521-3626 FAX：025-521-3627 E-mail：kakehasi@juen.ac.jp



上越 | 妙高 | 柏崎 | 十日町 | 佐渡 |
北陸新幹線開業 連携5市プロジェクト